



関西国際空港 航空機事故想定訓練を実施

関西エアポート株式会社は、関西国際空港において、11月9日（火）及び26日（金）に航空機事故想定訓練を実施することをお知らせします。

当訓練は、航空機事故による火災と負傷者が発生した場合を想定し、迅速かつ適切な消火救難活動を行うことを目的としています。また、今回は開港以来初めてのA滑走路上で訓練となり、実際の滑走路上で、航空機事故発生時における消防戦術の検証と事故対応能力の向上をめざします。

関西エアポートグループは、引き続きお客様の旅を支える安全を確保し、空港を安心して利用いただけるよう、様々な訓練を続けてまいります。

- 日 時：2021年11月9日（火）15:00～16:00
2021年11月26日（金）15:00～16:00
- 場 所：関西国際空港 A滑走路南側
- 参加機関：関西エアポート株式会社、関西エアポートオペレーションサービス株式会社
- 参加規模：人員：約60名（うち乗員役3名） 車両：約15台（化学消防車、給水車など）
- 訓練想定：航空機（貨物機・A320型機）が着陸時に強い衝撃を受け、滑走路上で第2エンジンより出火。乗員に負傷者が発生。
- 訓練項目：（1）A滑走路に向けての緊急出動（空港消防）
（2）消火活動訓練（空港用化学消防車による初期消火、継続放水）
（3）負傷者救急搬送訓練（救護エリアの開設、負傷者搬入）
（4）調整本部での情報収集、JCMGへの映像転送
※航空機（実機）は使用せず、車両を航空機に見立てて行います。

○訓練の様子（イメージ）



消火活動訓練



負傷者救急搬送訓練



医療資器材搬送車

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション
Tel：072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports (ヴァンシ・エアポート) を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港 (KIX) および大阪国際空港 (ITAMI) の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港 (KOBE) の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社 (関西国際空港および大阪国際空港の運営)

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号 (登記上)	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社 (神戸空港の運営)

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964 年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971 年の香港進出を皮切りに世界 37 カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、45 空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するブラジル、カンボジア、チリ、コスタリカ、ドミニカ共和国、フランス、日本、ポルトガル、セルビア、スウェーデン、イギリス、そしてアメリカ合衆国の空港には、合計で 250 社以上の航空会社が就航し、2019 年の旅客者数は 2 億 5,500 万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2019 年の連結売上高は 26 億ユーロ、グループ全体の売上高は 49 億ユーロ (関連会社含む) に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱 U F J 銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構